

# NEWSLETTER

No.92

1st April 2026

・教室をめぐる動き	・ ・ ・ ・ 1
・2026年度地理学教室行事予定	・ ・ ・ ・ 1
・地理実習室および地理情報処理室（世田谷10号館）の利用について	・ ・ ・ ・ 2
・地理実験室（世田谷10号館）の利用について	・ ・ ・ ・ 3
・地理学教室が発信する各種情報のQRコード	・ ・ ・ ・ 3
・地理学教室・購入図書資料リスト（2025年度）	・ ・ ・ ・ 4
・地理学教室・購入主要備品リスト（2025年度）	・ ・ ・ ・ 4
・PDF化して保存される卒業論文主題（2025年度）	・ ・ ・ ・ 5
・2026年3月卒業生の進路・就職先	・ ・ ・ ・ 5
・就職活動体験談（2025年度）	・ ・ ・ ・ 6
・2025年度における教員の研究活動等	・ ・ ・ ・ 11
・新刊案内（『図説 日本の里山』，『日本の活断層総覧』）	・ ・ ・ ・ 14

## 【教室をめぐる動き】

2026年度を迎えるにあたり、次のような先生方の動きがあります。

### <非常勤講師の退任>

中井 達郎 先生 「沖縄の自然環境」「オセアニアの環境と人間生活」「自然保護と環境アセスメント」  
「地域計画と住民参加」を担当

### <非常勤講師の新任>

長谷川 裕彦 先生 「地理と人間生活（地理学A）」「自然保護を考える（自然保護と環境アセスメント）」  
「オセアニアの環境と人間生活」「地域計画と住民参加」を担当

### <2026年度 コース主任・学年担当・大学院幹事>

コース主任 佐々木明彦	1年担当 桐越 仁美・小山 拓志	2年担当 桐越 仁美・小山 拓志
	3年担当 小山 拓志	4年担当 桐越 仁美
大学院(地理・地域論コース)幹事	桐越 仁美	

## 【2026年度 地理学教室行事予定】

4月 2日 ~ 7日	新入生オリエンテーション期間 (在学生ガイダンスは3月末に実施)
5月 20日 ~ 21日	地理学野外実習A (1年生)
6月 20日	国土舘大学地理学会 総会・講演会・懇親会
10月 6日 ~ 7日	地理学野外実習B (2年生)
10月 26日 ~ 29日	地理学野外実習C (3年生)
12月 10日	卒業論文 提出締切 (15:00)
12月 26日	国土舘大学地理学会 研究発表会・講演会・懇親会
2月 4日 ~ 6日	卒業論文公開口頭試験

## 【地理実習室および地理情報処理室（世田谷 10 号館）の利用について】

（※ よく読むこと）

1. 世田谷 10 号館 2 階（10201）に地理・環境コースの学生のための地理実習室があります。地理実習室は、コース学生の学習用に利用できます。利用法をよく読んで、積極的に活用して下さい。  
利用時間と利用方法 平日・土曜日 9:00～18:00（原則）

利用希望者は 5 号館 1 階 授業支援課カウンター（※受付時間は 8:30～17:30（土曜のみ～17:00）） で、カギの貸出簿に必要事項を記入の上、カギを受け取る。解錠後は所定のカギ掛け（入口左・黒板に貼ってあるフック）にカギを掛けておくこと。カギを借り出した者は、退室時には必ず施錠し、カギを 授業支援課カウンター に返却すること。カギ返却時にカウンターが閉まっていた場合は、5 号館正面入り口から授業支援課カウンターへ入るドア左横の「返却箱」に戻すこと。

- ・カギは借りた人が返却のこと。途中から入った学生が継続して利用したい場合は、その継続利用希望学生があらためてカギを借り出すこと。 カギの又貸しは、原則禁止します。
- ・教員が在室している時は、事務室でカギを借りなくても、自由に入室できます。ただし、教員が退室する場合は、在室者・利用希望者が事務室からあらためてカギを借り出すこと。
- ・教員や知らない学生に話しかけるのが苦手でカギの再借り出し等について話すことができないような人は利用を控えて下さい。カギの紛失・行方不明の原因となるからです。
- ・地理実習室は飲食禁止です。整理整頓を心掛け、ゴミ等は廊下にあるゴミ箱に分別して捨てて下さい。
- ・地理実習室は学習・研究のためのスペースですので、携帯電話も使用禁止です。通話・利用等は玄関ホールか屋外でして下さい。

2. 実習室には地理学に関する基本的図書（多くは貸出も可。貸出方法は下記参照）、地理学関連の辞典もあります。復習・レポート作成時に役立ちます。大崎晃先生（地理学教室の元教員）、吉川虎雄先生（日本地理学会元会長・東京大学名誉教授）のご遺族より寄贈いただいた地理学および関連分野の図書等も配架してあります。こちらも有効に利用して下さい。

国勢調査、事業所統計、工業統計、商業統計、農業センサスなど主要な統計（南関東の諸都県のものを中心）、道路統計年報、港湾統計年報、特定サービス産業実態調査報告書など図書館にない資料もあります。人文地理関係の科目で有効に活用できます。地理学の専門学術雑誌として、地理学評論（10 数年份）や経済地理学年報（約 30 年分）が蔵書されており、最新号が発行されるごとに配架されます（地理学評論は地理情報処理室に配架されますので、閲覧希望の学生は教員に問い合わせして下さい）。

統計類、雑誌類および辞書類の貸出は禁止です。統計・雑誌の一次持ち出し（コピーのため）は、教員の許可があればできます。

3. 実習室内には地理・環境関係図書、地理・環境コース学生専用の端末（PC）とプリンタ、スキャナ等が設置されています。これも学習用に利用できます。インターネット、メール、その他のソフトを使用することができます。利用上の注意は、情報メディアセンターの端末と同様です（学習に関係ないネット閲覧、ゲーム等は禁止です）。なお、GIS やリモートセンシング関連のソフト、illustrator もインストールされているので、宿題や課題などもこれらの PC で行うことができます。

4. 地理実習室は、学校荒らし・空き巣常習者などに狙われやすく、盗難のおそれがあるので、室内に貴重品等のモノを置いたまま外出しないようにして下さい。

なお、地理実習室内には防犯を目的として 2 台のネットワークカメラが設置されています。このカメラで撮影された動画は、地理情報処理室にあるネットワークハードディスクに保管されています。防犯と危機管理の面からもカメラの設置は必要ですので、理解と協力をお願いします。

5. 地理実習室の向かいにある地理情報処理室は基本的に研究向けスペースとなります。特殊なソフト・機器等を利用するためのスペースと考えて下さい。使用については教員と相談して下さい（同級生が在室・作業等していても、通常利用の学生は地理実習室の方を利用して下さい）。

実習室の図書の閲覧および貸出方法（※ 必ず読んで、ルールを熟知すること）

- ▼ 研究室備品の地図・空中写真・製図道具等は、実習室内でのみ閲覧・利用して下さい。
- ▼ 利用する人は（教員も含めて）、見たり借りたりした本を必ず元の位置に戻すようにして下さい（図書は分野別に配架されています。おおよその位置は借り出す際、覚えておいて下さい）。多くの学生・教員が利用します。実習室に図書・資料を放置することなどないように、注意しましょう。
- ▼ 貸出は、「図書貸出簿」（雑誌ラックに置いてある青色の B4 ファイル）に、書名・住所・氏名など必要事項を記入の後、教員のチェックを受け、サインをもらって下さい。
- ▼ 返却も、必ず教員のチェックを受け、「図書貸出簿」にサインをもらって、各自責任を持って所定の書架（置いてあった場所）に戻して下さい。
- ▼ 3・4 年生はできるだけゼミの先生からチェックを受けて下さい。
- ▼ 貸し出し期限は 2 週間です。厳守して下さい。
- ▼ 以上を守らず、無断持ち出しした者、貸し出し期限を守らない者には、相応のペナルティが課されます。

## 【地理実験室（世田谷 10 号館）の利用について】

地理実験室は、実験や試料処理等を行うための部屋です。卒業論文作成や地理学野外実習 C（主として自然地理学系）に参加した学生も、先生の許可を得て使える部屋です。詳しくは佐々木・小山・磯谷先生にお問い合わせ下さい。

なお、今年度の利用にあたっては下記の注意点について留意の上、利用のこと。

### ◆ 実験室における乾燥機の使い方およびサンプル（試料）の保管について

最近、土壌サンプル（試料）等を実験室内に長期間放置したり、乾燥機に数日間入れたままにしたりする事例が増えています（しかも、所有者が不明なものも見受けられます）。乾燥機を一人の学生が多数の試料で長期間使用すると、次に使用したい人が使えず、卒業研究のスケジュールに支障をきたすこととなります。乾燥機を含む実験機器は教室全体の共有設備であることを改めて認識して下さい。また、大切な試料を実験室内に長期間放置する行為は、コンタミネーション（他物質の混入）のリスクを高めるだけでなく、試料の品質低下や測定結果の信頼性低下につながる可能性があります。さらに、誤廃棄や取り違えといった事故の原因にもなりかねません。一方で、指導教員であったとしても、第三者が無断で乾燥機から試料を取り出したり、むやみに他人の試料に触れたりする行為も、できる限り避けたいと考えています。

したがって、今後は以下の点を徹底して下さい。

- ▼ 実験室に試料を置く場合：実験室にある名簿に、氏名、保管日数、試料の数等、必要な情報を記入する。また、サンプル袋などには分かりやすく氏名を書いて、可能であれば一つにまとめておく。可能な限り、長期間の放置はしないよう留意する。試料を実験室に置く場合は、佐々木・小山のどちらかに伝え、情報を共有すること。
- ▼ 乾燥機の使用：実験室にある名簿に氏名、使用日時等、必要な情報を記入する。乾燥後は、可能な限り速やかに回収するようにする。乾燥機使用時は、佐々木・小山のどちらかに伝え、情報を共有すること。
- ▼ なお、一定期間放置された試料については、指導教員の判断で対応する場合があります。互いに配慮し、責任ある行動を心がけましょう。

## 【地理学教室が発信する各種情報のQRコード】

地理学教室ではニューズレターの他に、ホームページ、フェイスブック、インスタグラムでも情報を発信しています。ぜひご覧下さい。



ホームページの QR コード



フェイスブックの QR コード



インスタの QR コード

## 【地理学教室・購入図書資料リスト（2025年度）】※ 書名と出版社名のみ

- |                        |          |  |           |
|------------------------|----------|--|-----------|
| ● 鉄道史大事典               | 朝倉書店     | ● 人間復興の地域経済学                             | 自治体研究社    |
| ● 歴史地理学事典              | 丸善出版     | ● 歴史的建造物の再生とツーリズムジェントリフィケーション            | 古今書院      |
| ● 教養のための植物学図鑑          | 朝倉書店     | ● 都市空間のエクスペリエンス                          | 古今書院      |
| ● 統計学図鑑                | オーム社     | ● アートの地理学                                | 古今書院      |
| ● 日本の地理学の百年            | 古今書院     | ● 焼き物世界の地理学                              | 風媒社       |
| ● 日本の地理・歴史の知識と英語を身につける | ベレ出版     | ● ウルトラ・アーバンゼーションの時代                      | 春風社       |
| ● 実験で使うとこだけ生物統計1 決定版   | 羊土社      | ● 観光 MICE—集いツーリズム入門                      | 古今書院      |
| ● 実験で使うとこだけ生物統計2 決定版   | 羊土社      | ● 日本と世界の観光史                              | 古今書院      |
| ● セミハンドブック 増補改訂版       | 文一総合出版   | ● 観光ビジネス                                 | 朝倉書店      |
| ● ツキノワグマのすべて           | 文一総合出版   | ● 観光の人文地理学                               | 朝倉書店      |
| ● やさしい気候学 第5版          | 古今書院     | ● 自然観光の科学                                | 朝倉書店      |
| ● 図説 日本の里山             | 朝倉書店     | ● 図説 日本の産業地理                             | 古今書院      |
| ● につぼんのクマ              | カンゼン     | ● ドイツ経済の地域構造                             | 原書房       |
| ● シダ識別入門図鑑             | 全国農村教育協会 | ● 中国(シリーズ〈世界を知るための地誌学〉)                  | 朝倉書店      |
| ● 未来を生きるすべての人の教養の生態学   | 東京化学同人   | ● 日本(シリーズ〈世界を知るための地誌学〉)                  | 朝倉書店      |
| ● グローバル変動生物学           | 朝倉書店     | ● アメリカ(シリーズ〈世界を知るための地誌学〉)                | 朝倉書店      |
| ● 包摂と正義の地球環境学          | 古今書院     | ● 山の観光史                                  | 日本経済評論社   |
| ● 形質生態学入門              | 共立出版     | ● 焼畑を活かす                                 | 京都大学学術出版会 |
| ● 森林生態系の保全管理           | 共立出版     | ● 熱帯の家畜と人                                | 海青社       |
| ● 山溪ハンディ図鑑 樹木の葉 第3版    | 山と溪谷社    | ● 写真に見るアジア・アメリカの風俗文化                     | 帝国書院      |
| ● 水生・湿生植物生活史図鑑         | 北隆館      | ● 写真に見るアフリカ・西アジアの風俗文化                    | 帝国書院      |
| ● 草原生態学                | 東京大学出版会  | ● 主題図のはじまり                               | 帝国書院      |
| ● 帝国日本と森林              | 勁草書房     | ● 地図と読む 日本の街道                            | 地図情報センター  |
| ● 認識と行動の地球環境学          | 古今書院     | ● 祭の地図 日本の祭りと伝統行事                        | 帝国書院      |
| ● アジアの活変動帯             | 東京大学出版会  | ● 地図でみる城下町・第2版                           | 海青社       |
| ● 湖の地形学                | 古今書院     | ● 位置情報を扱う人のための実践 QGIS                    | 秀和システム    |
| ● 新 測量学—基礎から実践まで       | コロナ社     | ● GIS 入門                                 | ベレ出版      |
| ● 鳥瞰図絵師 吉田初三郎の世界       | 昭文社      | ● デジタル・ジオグラフィーズ                          | 明石書店      |
| ● 地図とデータで見る氷河の世界ハンドブック | 原書房      | ● 経済・政策分析のための GIS 入門 2                   | 古今書院      |
| ● 東京の自然史を歩く            | 創元社      | ● 旧版地形図類の基礎的研究                           | 創元社       |
| ● 離島研究VII              | 海青社      | ● 地図力を育む                                 | 古今書院      |
| ● 近代日本における外来野菜の普及      | 古今書院     | ● 地名はどのように決まるのか                          | 古今書院      |
| ● 日本の湊と地域              | 風媒社      | ● フィールド調査のための安全管理マニュアル                   | 朝倉書店      |
| ● 図説 日本の港              | 朝倉書店     | ● 地理で読み解く現代世界                            | 古今書院      |
| ● 「地域の価値」とは何か          | 中央経済社    | ● 見方・考え方を働かせる！ 板書&展開例でよくわかる中学地理授業づくりの教科書 | 明治図書出版    |
| ● 京都の路線バス徹底解剖          | オーム社     |  |           |
| ● 満鉄輸送史の研究             | 塙書房      |  |           |

## 【地理学教室・購入主要備品リスト（2025年度）】

- |                        |      |              |     |
|------------------------|------|--------------|-----|
| ● データロガー（おんどとり TR-52i） | 20 台 | ● 恒温水槽       | 1 台 |
| ● データロガー（おんどとり TR-51i） | 10 台 | ● 超音波ホモジナイザー | 2 台 |

※ 地理学教室の備品・電子データ資料等は教員の指導のもと、学生も使用することができます。以前に購入した国勢調査データ（従業通学データ）、商業統計表データ（立地環境特性格別統計編）、事業所・企業統計データ、農林業センサス集落カード、東京都や札幌市の地図データもあります。卒論でも使えます。詳しくは教員（とくに加藤、佐々木）まで。

## 【PDF 化して保存される卒業論文主題（2025 年度）】

・地理学教室では、1986 年度から 2025 年度までに提出された卒業論文のうち 613 編を優秀卒業論文として保存しており、そのリストは地理学教室ホームページに掲載されています。2025 年度の卒業論文のうち優秀卒業論文として保存されるのは、次の 11 論文です。

氏 名	表 題	所属ゼミ
大久保 彩香	北陸地方の梅雨期降水にみられる年々変動とその気象環境要因	佐々木ゼミ
高橋 快空	東京都 23 区における楽器店集積地について ー都心専門小売業の空間的特化と機能分化ー	桐越ゼミ
佐藤 絵磨	埼玉県春日部市豊春地区における大学生の外出行動の特性	内田ゼミ
菅野 一生	近年の東京都内における夏季の熱帯夜の地域特性	佐々木ゼミ
吉川 慧子	広島県安芸高田市における社寺境内に生育する樹木の樹種構成と その分布特性	磯谷ゼミ
橋本 桃	栃木市における歴史的町並みの現状と観光振興	岡島ゼミ
松田 桜太郎	三頭山南東部における岩塊斜面の分布と形態	小山ゼミ
古矢 駿	都道府県別に見た温泉地のイメージに関する研究 ーテキストマイニングを用いた新聞記事の分析ー	内田ゼミ
大草 啓希	千葉県勝浦市における朝市の二重機能ー「勝浦朝市」を事例にー	桐越ゼミ
森崎 彩乃	埼玉県鴻巣市におけるひな人形産業の変遷	桐越ゼミ
岡村 珠樹	沖縄県伊平屋島・野甫島におけるビーチロックの形態と固結度の空間的評価	佐々木ゼミ

- ・2001 年度以降の優秀卒業論文はホームページから閲覧することができ、上の論文もそこに含まれます。ただし、印刷はできません。
- ・閲覧にはパスワード等が必要になります。講義やゼミの際に、地理学教室専任教員から聞いて下さい。不明な点があれば、担当の教員（桐越：kirikoshi@kokushikan.ac.jp）まで問い合わせして下さい。
- ・全国地理学専攻学生卒業論文発表大会（「卒論の甲子園」ともいわれる各大学の優秀卒業論文の発表会：日本地理教育学会主催）には、吉川 慧子（磯谷ゼミ）・古矢 駿（内田ゼミ）の両君が選ばれ、発表しました。要旨は雑誌『新地理』に掲載されます。

## 【2026 年 3 月卒業生の進路・就職先】

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| ■ 株式会社アズコムデータセキュリティ  | ■ 株式会社スエヒロ          |
| ■ 株式会社アーバンリサーチ       | ■ 株式会社ニチボウ          |
| ■ 株式会社クスリのアオキ        | ■ パナソニック防災システムズ株式会社 |
| ■ 株式会社メガネトップ         | ■ アジア航測株式会社         |
| ■ 株式会社グッドライフケア東京     | ■ 国際航業株式会社          |
| ■ 株式会社ケアリッツ          | ■ 株式会社パスコ           |
| ■ 西武鉄道株式会社           | ■ 環境省関東地方事務所        |
| ■ 東急リバブル株式会社         | ■ 埼玉県警察             |
| ■ 株式会社武揚堂            | ■ 坂戸、鶴ヶ島下水道組合       |
| ■ 株式会社文化放送キャリアパートナーズ | ■ よこすか葉山農業協同組合      |
| ■ ジャパンエレベーターサービス株式会社 | ■ 高校非常勤講師           |
| ■ 株式会社カワト T.P.C.     | ■ 学校法人三幸学園          |
| ■ 大成ロテック株式会社         | ■ 九州大学大学院           |
| ■ 株式会社上智             | ■ 国士舘大学大学院          |

※ 以上は、2 月上旬の時点で地理学教室に、業種だけでなく企業名等も含めた報告があったものです。

## 【就職活動体験談（2025年度）】

就職・進学先に内定等を得た学生のうち、何人かに就職体験談を寄せてもらいました。質問内容は次の通りです。次の1～12の質問内容に対する回答を掲載しています。

- |                          |                         |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 氏名                    | 2. 内定企業名                |
| 3. 業種                    | 4. 職種                   |
| 5. その企業を選んだきっかけは何か？      | 6. 内定までの流れ（時期と選考内容）     |
| 7. やっておいてよかったこと          | 8. 面接で聞かれたこと            |
| 9. 失敗談，うまくいかなかったこと       | 10. この企業に就職することを決めた理由は？ |
| 11. 面接が不合格だった後に努力や工夫したこと | 12. 後輩へのメッセージ（アドバイス）    |

- 山崎雅弘
- 株式会社パスコ
- 空間情報事業
- 技術職
- この業種を選んだ理由として、大学で学んだ知識を生かせるということがあります。全く知らない業種に飛び込むよりも、4年間で得た自分の知識や経験を無駄にせず生かすことを仕事にしたいと考えたからです。
- インターンに参加し、早期選考で内定をいただきました。  
2月上旬 ES 締め切り→2月上旬適性検査→2月下旬一次面接（Web）→3月中旬二次面接（Web）→4月上旬最終面接
- 5 days のインターンに参加することや、同業他社の会社説明会に参加したことです。5 days のインターンは、その会社の雰囲気や、仕事内容、就職後のイメージ、社員さんへの質問など、様々な情報を得ることができます。その情報から志望理由につなげることができました。同業他社の説明会も、それぞれの会社の特徴を捉えることができるため、志望理由につなげることができました。
- 主に履歴書に書かれた内容から質問が多くありました。書いた内容に対して、「詳しく説明してください」「その出来事から学びを得たことは何ですか？」ということ聞かれました。他には卒論の内容について、概要や調査手法、途中経過などを聞かれました。他には、ストレス発散法やどのような社会人になりたいか、他社のインターンではどんなことをやったのか、などについて聞かれました。
- 卒論について聞かれたときに、まだ調査手法を確立する前だったので、こういう調査をしたいと考えています、としか言えなかったことです。内定式でよりはっきりわかることですが、院生が学部生と比べて圧倒的に多いため、会社側は研究結果などがある程度出ている前提で質問してきました。このことから卒論も早め早めに動く必要があると感じました。
- 業界最大手という点と、インターンに参加した際にオフィスの雰囲気を直に感じて他社よりも和やかな雰囲気を感じたからです。
- 私の場合は、1社目を受かったあとパスコから内定をいただいたため、不合格だった後に努力したことや工夫したことはありません。
- まず3年生は、5day インターンに参加しましょう！そういった意味でも就活は3年春から始まります。将来何がしたいか見えず不安になることがあると思いますが、大学の学びを生かせる会社、自分の趣味に通ずる会社などを中心に参加することをお勧めします。また、インターンや会社説明会で使ったメモ帳を面接前に見返しましょう。忘れかけていたインターンの内容を思い出すことができます。

航測会社を志望する人は、G 空間 EXPO やジオ展に参加することをお勧めします。様々な技術や、会社の特徴など、面接時のネタになる情報がたくさん転がっています。友人たちと一緒に遊びに行くぐらいの気持ちでまずは行ってみましょう！

資格の観点からでは、業種に限りませんが、運転免許は早めにとり運転に慣れておくことをお勧めします。会社によっては取得必須であったりします。時間に余裕がある大学生のうちに取りっておきましょう。また、航測会社を志望する人は、測量士補や GIS 学術士の資格を取得しましょう。両方とも卒論や面接時に必ず生きてきます。

最後に、面接はオンラインでも対面でも緊張します。どんなに焦っても、面接官の Q に対してきちんと A をだせているか、これだけ意識していれば自分の言いたいことは伝わるはずです。皆さんの就活が満足いく形で終わることを期待しております。

1. 大河内福ノ介
2. 国際航業株式会社
3. 建設コンサルタント事業
4. 技術職
5. 自分がやりたい事と大学で学んだ事の両方に関連する仕事ができると思った。
6. 8月：インターンシップ（1週間）→11月下旬：エントリーシート提出→12月中旬：適性検査・希望している職種の人（部長）と二次面接（WEB）→1月下旬：役員と人事の方と最終面接・内定
7. 希望する職種関連の授業を受けたこと（測量実習やフィールドワーク、ドローンの資格、GISなど）、友達や教授などと就活に関する情報を共有していた、早期に就職活動を始めたこと（インターンシップに参加し、早期内定を頂いた）、自分の強みや経験を言語化して伝える練習
8. 志望動機、ガクチカ、エントリーシートの深掘り、卒業論文の内容、長所と短所、同業他社ではなくなぜこの会社なのか、希望する部署と自分のやりたいことが合っているか、入社後の展望、転勤できるか、インターンシップで伺った部署と違う部署を希望したのですが、なぜ変えたのかを聞かれた（二次面接）
9. WEBの複数人で行われた二次面接にて、初めての面接だったので、マイクの音量調整や発言が被ったりして、より緊張してスムーズに面接を行えなかった。また、会社のことを詳しく聞かれた際曖昧な返答しかできなかった。
10. 自分の興味があり、その分野を深く知りたいと思える仕事内容だった。大学で学んだことを活かして、長く続けていけそうと思った。
11. 1社しか受けてないので落ちた経験はないのですが、落ちない為に親に協力してもらったり、エントリーシートからAIに質問を考えてもらったりしました。準備も大切ですが、面接官の前で言われたことをしっかり自分の言葉で返すこと、相手に自分のことを知ってもらえるようにコミュニケーションをとることを意識して臨むといいと思います。
12.
  - ・インターンシップに早く参加する（早期内定を取れるかも）。
  - ・友達や家族と情報を共有する。
  - ・自分と向き合って思考や感情、経験など言語化し相手に理解されるように伝える。
  - ・人として興味を持ってもらえるように自分をプレゼンする（自分にしかないものを見つける）。
  - ・皆が「就活＝大変なもの」でない。
  - ・実際に働かなければ分からない事が多いのでこだわり過ぎない（年収など）。
  - ・長く続けられそうな仕事に就く（3番目にやりたいことくらいがいいかも）
  - ・逃げや諦めも大事。

どれだけ頑張って入った会社でも、人間関係が合わなくて辞めたり、何があるか分からないのが人生です。とりあえず入って頑張ってみるのも手だと思います。志望した会社に入れなくても終わりじゃない。どんな結果でもめげずに自分の選択に自信を持って、今に向き合って頑張ってください。応援しています。

1. 前田悠佑
2. 株式会社上智
3. 建設コンサルタント
4. 測量士
5. 地元のまちづくりに貢献したかったから
6. 4年生の5月頃に企業説明会があり、6月頃に面接を行った
7. 人と話す練習
8. 高校時代に頑張ったこと
9. 緊張して事前に考えていた志望動機などがうまく言語化できなくなったこと
10. 福利厚生が良く、社内の雰囲気が好きだった
11. ハキハキと話す練習をした
12. 自分に自信をもって頑張ってください

1. 森崎彩乃
2. 株式会社武揚堂
3. 地理空間情報事業, プリンティング事業
4. 営業
5. 地域と密接に関わることができる企業に就職したかったからです. 自分自身の経験から地方自治体と一緒に仕事をし, 地域貢献に繋がるような仕事がしたいと考えていました. 1つの自治体だけではなく, 複数の自治体に携わりたかったので民間企業への就職を希望していました.
6. 6月下旬 会社説明会→7月上旬 書類提出→7月中旬 適性検査受験&1次面接→7月下旬 最終面接→内々定
7. 提出した ES をいつでも見返せるよう, スマホのメモに保存しておいたことです. 面接では提出した書類を基に質問されることが多いので, 確認することで自分の考えを整理できました. 面接時に回答を丸暗記していくのはお勧めしませんが, 伝えたいことを明確にした方が自分の言葉で答えられると思います.
8. 志望動機や, 実際に就職したらやりたいことなどの仕事に関する質問と, 休日の過ごし方や挫折したこと, アルバイトなどの自分自身に関する質問をされました. また, 地図調製を主要事業とする会社なので, 地図を好きになったきっかけや地理学科に入った理由, 旅行経験に関する質問などもありました.
9. 想定外の質問をされた時に頭が真っ白になってしまい, 上手くまとめられなかった事です. 最終面接は社長とだったので余計に焦ってしまった記憶があります.
10. 地域の観光や防災に関わる仕事に就きたかったからです. 観光マップや防災マップの企画提案や, 地域プロモーションに携われることが決め手になりました. また, 創業 130 年を超える老舗企業であること, 会社説明会での印象も決め手の一つでした.
11. その時の面接を振り返って練習することです. 私は面接が終わってすぐ, どのような質問をされたのか, どのような答えをしたのかメモしていました. 面接は場数を踏めば踏むほど上手くなっていくと考えていたので, 過去の面接を基に何度も練習していました.
12. 私は人前だと普段よりも声小さくなりやすいので, はっきりと笑顔で話すよう心掛けました. 自分の中で意識するポイントを決めて改善していくことで, 自分の中でも手ごたえを感じ自信がついたように思います. また, 趣味に没頭するなどリフレッシュの時間を設けていたことも個人的には良かったです.  
 就活を進めていく中で, 周りの殆どが内定を持っているという状況があるかと思います. 決して他人と比べず, 自分のペースで就活を進めてください. 内々定を頂くことはゴールではありません. 焦る気持ちも分かりますが, 自分の人生は自分のものです. しっかり自分と向き合ってもらいたいと思います. そのためにも, これからのような人生を歩んでいきたいのかある程度考えておくことをお勧めします.  
 就活はこれからの人生について深く考えられる良い機会です. 苦しい時もあるかと思いますが, 最後まで諦めず頑張ってください. 応援しています!

1. 飯塚翔平
2. 株式会社西武鉄道
3. 運輸・インフラ
4. 専門職 運輸系統
5. 小さいころから鉄道会社に就職することを夢に見ていた. ほかの鉄道会社からも内定をいただいたが, 地元であることと福利厚生の方からこの企業を選んだ.
6. 2月中旬～ 専用マイページからエントリー (ES と SPI)  
 3月上旬 オンライン面接 (15 分), 本社にて健康診断とクレペリン検査  
 4月上旬 本社にて対面面接 (30 分くらい)  
 5月上旬 本社にて対面面接 (最終, 30 分くらい)  
 最終面接から 1 週間以内に電話にて採用の通知
7. 企業の研究 面接の中で, なぜこの企業を選んだかの質問はほぼ毎回この企業にかかわらず聞かれました. 例えばほかの鉄道会社と比較したその会社の強みなどをうまくまとめておくと, 面接のときスムーズに口から出てきます.
8. 自身の強み・学生時代に頑張ったこと・なぜこの会社を選んだか この 3 つの質問はほぼ毎回聞かれます. 大切なことは暗記してロボットのように話すのではなく, 要点のをキーワードとして覚え, そのほかの部分はアドリブで行くことだと思います. 面接の中で, 予測している質問以外にもバンバン聞かれ

ます。すべて暗記で行くとアドリブが効かないです。面接は何回やっても緊張します。慣れません。

9. 1社目が不採用だった時引きずりすぎたこと。割と志望度高めの企業から電話が来ず、不採用でした。その時はまだ内定が一つもなかったのので、ネット検索などでその企業の採用の情報などが目に入るとさらにエゴサーチしてしまい、時間とメンタルの両方を無駄にしました。内定無い状態での不採用はかなりメンタルに影響がありますが、そこをいかに切り替えられるかが大切であると身に染みて感じました。
10. 福利厚生 最も大きな理由は福利厚生です。私は野球が好きなので、会社説明会で野球の観戦チケットの福利厚生の話があり、この会社に決めました。
11. 先ほども書きましたが、引きずらずに切り替えることには意識していました。私は記憶力がないので、面接が終わったらその日のうちに何を聞かれたかなどをざっくり思い出して、簡単に振り返りはしました。ただ、私は自分の面接に自信があったので、採用された面接でも不採用でも同じ対応をしていました。とにかく引きずらないことだけ意識しておいてほしいです。
12. 今すでに内定がある人はごく一部です。周りに流されず、自身のやりたいことなどにとことんこだわり、妥協しないでください。私の去年の同じ時期はまだ内定がなく、かなり焦っていました。学校の授業でも、バイトでも、遊んでいても、頭の片隅に就職があり、全然人生を楽しめていませんでした。しかし今考えれば、常に意識してしまっていたからこそ、自分のやりたかった職種に採用をいただくことができたのかなと思います。とにかく自分に自信を持って生きてほしいと思います。新卒は1度きりで、最も強い手札となります。皆さん全員が自身のやりたい仕事に就き満足して就活を終えられることに期待をしています。就活終わったら死ぬほど遊んでください。4年生はあつという間に過ぎてしまいます。言葉が最後までうまくまとめられずに申し訳ありませんが、ほんの少しでも皆さんのお力になれば幸いです。それでは皆さん所沢から応援しています。

1. 大草啓希
2. 埼玉県警察
3. 地方公務員
4. 公安職
5. 幼い頃からの憧れ
6. 9月下旬：1次試験（筆記試験・小論文・適性検査）→合格後10月上旬：身体検査→10月下旬：2次試験（面接・体力試験）→12月下旬：内定
7. 筆記試験対策・体力作り・一般企業の面接を受けて場数を踏んだこと
8. 志望動機・大学で学んでいること・なぜ埼玉県警察なのか・長所・短所・親は警察になることに対して賛成か・最近の気になったニュース・上司と意見が対立したらどうするか
9. 筆記試験対策不足で全然点数が取れなかったこと
10. 生まれ育った場所の治安を守りたいと思ったから
11. その企業とは縁が無かったと思い気持ちを切り替える・自己分析を徹底
12. 就職活動で一番大切だと思ったのは、自己分析を徹底することだと思いました。自分は将来何をやりたいのか、どんな社会人になりたいのかをしっかりと考えることで、企業選びの軸が明確になると思います。就職活動は自分のペースで進めるのも大事だと思います、周りに流されず最後まで頑張ってください。

1. 正木颯太
2. 坂戸、鶴ヶ島下水道組合
3. 地方公務員
4. 事務職
5. 身近に地方公務員として働いている人が多かったため、地方公務員自体には前々から興味関心を持っていた。八潮市の陥没事故から下水道などに携わる仕事に関心が強くなったため。
6. 4月中旬:申し込み→6月上旬:第一次試験(筆記試験・個別面接)→7月上旬:第二次試験(個別面接)→7月下旬:第三次試験(個別面接)
7. 数的処理に時間を割いたこと
8. 持っている資格について・今住んでいる自治体の下水道について・どのような上司から仕事を教わりたいか

9. 一番はじめに面接をした自治体では質問に詰まったり、少し早口になってしまったこと
10. 2つの地方自治体に合格することができ、収入や通勤時間などはほとんど同じだったため、どちらの方が都内まで安く早く移動できるかで決めた
11. いつも通りの自分を出すための準備・面接が多少駄目でも筆記試験が良ければ合格すると思ったため勉強した
12. 一番就職したい企業の筆記試験や面接を最初に受けたくないこと.その企業より前に何社か受けることが望ましい

1. 片岡航太
2. よこすか葉山農業協同組合 (JA よこすか葉山)
3. 農業協同組合
4. 総合職
5. 地元で貢献できる職業に就きたかったから.
6. 3月下旬:会社説明会→4月上旬:ES提出・適性検査→5月中旬:一次面接→5月下旬:最終面接
7. 部活動の幹部を経験したことで人前で話す機会が多く、面接でもあまり緊張せずに話せたこと.
8. 志望理由, 大学で学んでいる学問, 部活動, 趣味
9. 落ちた企業ではグループワークがあり, 私自身のコミュニケーション能力が高くないこともあり, グループの会話を中心的な立場で参加することができませんでした. グループワークは積極性がないと私の感覚では必ずと言っていいほど合格することは不可能だと感じました.
10. 第一志望であり, 地元の繋がりがあることが一番の就職する要因となりました.
11. 面接の事前準備の大切さを学び, 企業理念をはじめとした会社のプロフィールを予習してから面接に臨むようにしました.
12. 就活の軸を決めてから就職活動をすることが大切だと思います. 給料, 勤務地, 休日, 業種・職種など企業選びをするときに何か一つでも軸を絞るとスムーズに就職活動を行うことができるため, 自己分析を疎かにしないことをおすすめします.

1. 松田 桜太郎
2. Technopro IT 社
3. IT 業界
4. 今のところ未定
5. 自分の父親と本社のビルが一緒に運命的なものを感じ、インターンに応募した。そのインターンで企業のイメージがよく、自分と合っていると感じたから。
6. 3年夏 インターン 3年秋 選考 1次 zoom 2次 zoom 3次 対面 3年冬 内定
7. 高め合える友人を作ること/SPI対策の勉強をすること/AIや友人と面接練習を多く行った
8. この会社を選んだ理由・趣味・学校生活で最も力を入れたこと・なぜこの業界を志望したなど、基本的な質問が多かった。
9. 面接で自分が伝えたいことを伝えることができないまま面接が終わりかけてしまったこと。
10. 将来インターネット需要が高まっていく中で、IT系企業に未経験ながら就職したいと考えていた。その中でも自分が入社を決めた企業は業界内でも実績が高く、規模もおそらく日本一の企業であったためである。また、福利厚生が最も良く、将来性があると判断した。
11. 不合格になったことはないが、面接に落ちないためにその会社の企業理念や従業員数、インターンなどでお世話になった人の名前を忘れないなど、意欲関心が高いことをアピールした。
12. 自分にはコミュニケーション能力があるから面接練習はいらない、今の社会は人手不足だから必ずどこかには就職できる、などの甘えた考えは捨てたほうがよいです。面接も自分を見つめ直せる箇所があると思って一つ一つ臨み、国士館大学の学生として企業に対して恥ずかしくない姿で頑張ってください。

## 【2025 年度における教員の研究活動】

### 岡島 建 教授

#### 著書（分担執筆）：

- ・岡島 建（2026）：京王電車沿線名所図絵，京王電車沿線名所図絵（東京より多摩御陵）参拝近道，青梅鉄道沿線名所図絵，目黒蒲田東京横浜電鉄沿線案内鳥瞰図．堀田典裕編『吉田初三郎 日本全国鳥瞰図集成 I 広域鳥瞰図〔解説篇〕』国書刊行会，pp.70-72.

#### その他（テレビ番組等）：

- ・「大下容子ワイド！スクランブル」の『都内で新たな「船旅通勤」開始 大都会の景色と風を感じ… 補助金終了で利用者増へ』，テレビ朝日，2025/5/15 放映.

### 磯谷 達宏 教授

#### 著書（分担執筆）：

- ・磯谷達宏（2025）：多摩丘陵．湯本貴和・佐久間大輔・鎌田磨人・原慶太郎編『図説 日本の里山—73の里山のくらしと生物多様性—』朝倉書店，pp.64-65.

#### 論文：

- ・式見彩夏・嶋田哲郎・磯谷達宏（2026）：東京都立水元公園に生息するカルガモの分布・生態と環境条件．国土舘大学地理学報告，34，pp.13-34.

#### 学会発表：

- ・吉田光翔・吉田圭一郎・武生雅明・磯谷達宏．植生帯境界域における標高に沿った樹木の空間分布と種間関係．植生学会第30回大会，2025年10月11日，鹿児島大学.
- ・吉田光翔・吉田圭一郎・磯谷達宏・武生雅明．植生帯境界域における種内・種間競争の空間スケール．日本第73回生態学会大会，2026年3月14日，京都大学・国立京都国際会館.
- ・井上泰子・小川みふゆ・上條隆志・森島 濟・長田 強・磯谷達宏・倉本 宣．鬼怒川源流地域での森林生態学的研究の成果と今後の展望．第137回日本森林学会大会，2026年3月18日，つくば国際会議場・筑波大学.

#### その他（シンポジウム）：

- ・近藤博史・磯谷達宏・佐々木明彦・小山拓志：只見の豪雪環境が生んだキタゴヨウの巨木林—森林構造と土壌環境から分かること—。「自然首都・只見」学術調査研究成果発表会，2026年1月25日，只見町朝日公民館.

#### その他（公的活動）：

- ・神奈川県川崎市生田緑地自然環境保全管理会議に学識者として参画.

### 加藤 幸治 教授

#### 著書（分担執筆）：

- ・加藤幸治（2025）：経済地理学会．日本地理学会百年史編集委員会編『日本の地理学の百年』古今書院，pp.513-517.

#### 論文：

- ・加藤幸治（2025）：地域の医療サービス評価における面積・広がりに関する考慮の必要性．E-journal GEO，20，pp.234-243.

#### 学会活動：

- ・経済地理学会 評議員，代表幹事
- ・日本経済学会連合 評議員

#### その他（テレビ出演・コメント）：

- ・HBC北海道 2025年5月14日 午後4時50分から放送「今日ドキッ！」の『もうひとホリ』のコーナーにおいて『中標津町でホテルラッシュ！のワケ』と題したニュース企画について経済地理学の専門家として出演．[https://youtu.be/LsYDW\\_JeY9w](https://youtu.be/LsYDW_JeY9w)

- ・HTB 北海道ニュース 2025年6月24日 午後5時30分から放送「イチオシ!!」にて『「酪農王国」中標津町、人口が根室市を超え管内で最大の町に 工場やホテルの建設も「中標津モデル」とは?』に出演. [https://youtu.be/qEHX\\_qTTzmg](https://youtu.be/qEHX_qTTzmg)

その他（新聞取材協力・コメント掲載）：

- ・北海道新聞 2025年11月8日朝刊15面 「中標津チェーン店等続々」において中標津モデルを解説.
- ・北海道新聞 2026年1月11日朝刊2面 「住みたくなる「中標津モデル」 人口 根室市上回り管内トップに」にコメントが掲載.

## 佐々木 明彦 教授

論文：

- ・近藤ひかる・的場澄人・佐々木明彦・西村基志・鈴木啓助（2025）：北アルプス・上高地における降積雪量分布. 北海道の雪氷, 44, pp.55-56.
- ・吉田明弘・百原 新・木村南月・帥 帆嘉・工藤雄一郎・大山幹成・佐々木明彦・谷口康浩（2025）：新潟県苗場山小松原湿原群のボーリングコア試料の植物化石からみた亜高山帯針葉樹林の発達過程. 植生史研究, 33, pp.3-18
- ・鈴木啓助・佐々木明彦（2026）：上高地梓川流域の航空レーザ測量による積雪深分布. 山の科学, 9, pp.1-11.

学会発表：

- ・長谷川 均・佐々木明彦・泉 隆盛：佐渡島平根崎の冷水性炭酸塩堆積岩に形成された海岸カルスト. 日本地理学会 2025年春季学術大会, 2025年3月19日, 駒澤大学.
- ・佐々木明彦・長谷川裕彦・高橋伸幸：大雪山中央部, 白雲岳周辺における地表環境の変遷. 日本地球惑星科学連合大会 (JpGU) 2025, 2025年5月29日, 幕張メッセ.
- ・吉田明弘・佐々木明彦：長野県志賀高原田ノ原湿原の花粉分析データからみた最終氷期末期以降における亜高山帯針葉樹林の発達過程. 日本地球惑星科学連合大会 (JpGU) 2025, 2025年5月29日, 幕張メッセ.
- ・佐々木明彦・西村基志・鈴木啓助：乗鞍・富士見岳の砂礫斜面に分布するしっぽ状植生における地温の観測. 日本山の科学会 2025年秋季研究大会, 2025年11月22日, 明治大学.

学会活動：

- ・日本山岳文化学会 常務理事, 編集委員
- ・日本植生史学会 編集委員
- ・日本雪氷学会 北信越支部会 幹事
- ・日本地理学会 編集委員
- ・日本山の科学会 幹事長, 編集委員

その他（シンポジウム）：

- ・近藤博史・磯谷達宏・佐々木明彦・小山拓志：只見の豪雪環境が生んだキタゴヨウの巨木林—森林構造と土壌環境から分かること—。「自然首都・只見」学術調査研究成果発表会, 2026年1月25日, 只見町朝日公民館.

## 小山 拓志 准教授

著書（分担執筆）：

- ・小山拓志（2025）：「大分」, 「中津」, 「福岡」. 宮内崇裕・堤 浩之・石山達也・楳原京子・金田平太郎・後藤秀昭・田力正好・廣内大助・松多信尚編『日本の活断層総覧』東京大学出版会

論文：

- ・小山拓志（2025）：高等教育における文理融合型オムニバス科目による防災・減災教育の効果と課題—受講希望学生の特性と受講後の意識・行動変容—. 国士館人文学, 16, pp.71-90.
- ・小山拓志（2025）：南アルプス南部, 丸山周辺における構造土の分布と斜面物質の移動速度. 国士館大学地理学報告, 34, pp.1-12.

学会活動：

- ・日本地理学会 資格専門委員会委員

- ・日本地理学会 災害対応委員会委員
- ・茨城地理学会 編集委員

#### その他（シンポジウム）：

- ・近藤博史・磯谷達宏・佐々木明彦・小山拓志：只見の豪雪環境が生んだキタゴヨウの巨木林—森林構造と土壌環境から分かること—。「自然首都・只見」学術調査研究成果発表会，2026年1月25日，只見町朝日公民館。

#### その他（委員）：

- ・国土地理院 全国活断層帯情報整備検討委員会

### 桐越 仁美 准教授

#### 著 書（編者）：

- ・藤本 武・八塚春名・桐越仁美編（2025）：『食文化からアフリカを知るための65章』明石書店。

#### 著 書（分担執筆）：

- ・桐越仁美（2025）：新天地を目指す躍動—ガーナにおける移民コミュニティ「ゾンゴ」の変容と移民の農地獲得。『その空間を統治するのはだれか—フロンティア空間の人類学』ナカニシヤ出版，pp.263-284。
  - ・桐越仁美（2025）：カカオとコーラナツ—カカオ生産を支える樹木作物。 (pp. 72- 76)  
サバンナと森の架け橋—南北をつなぐゾンゴの人々。 (pp.264-268)
- 以上，山田肖子・溝辺泰雄編著『ガーナを知るための57章【第2版】』明石書店 に所収。
- ・桐越仁美（2025）：ササゲは主食—ニジェール・ハウサの多彩なササゲ料理。 (pp.169-173)  
西アフリカのマヤンカとスヤー食肉専門の職能集団とポピュラーな串焼き肉。 (pp.181-185)  
シアーバターとパーム油—ガーナの食を支える二つの植物油。 (pp.265-268)  
西アフリカの七味唐辛子ヤジ—長く「秘伝」だったハウサ社会の香辛料。 (pp.269-273)  
コーラナツの交易—森林とサバンナを架ける嗜好品。 (pp.286-290)  
再評価される移民食文化—ガーナの首都に広がる「ゾンゴ・テイスト」。 (pp.365-369)  
都市の食事とフードデリバリー。 (pp.384-386)
- 以上，藤本 武・八塚春名・桐越仁美編（2025）『食文化からアフリカを知るための65章』明石書店 に所収。
- ・原 将也・桐越仁美（2025）：サヘルで食べる新鮮な野菜サラダ—半乾燥地ニジェールで育つレタス。藤本 武・八塚春名・桐越仁美編（2025）：『食文化からアフリカを知るための65章』明石書店，pp.240-244。
  - ・八塚春名・桐越仁美（2025）：アフリカでも愛されるネバナ料理—東と西の比較から。藤本 武・八塚春名・桐越仁美編（2025）『食文化からアフリカを知るための65章』明石書店，pp.250-254。

#### 論 文：

- ・桐越仁美（2025）：アクラの「プラスチック川」を取り巻く実情—ガーナのプラスチック廃棄物に関する取り組みと実態。アフリカ研究，108，pp.41-45。
- ・桐越仁美（2026）：ガーナのネバナ料理。地理，71-3，pp.54-56。

#### 学会活動：

- ・日本地理学会 広報専門委員
- ・経済地理学会 選挙管理委員

#### その他（講演）：

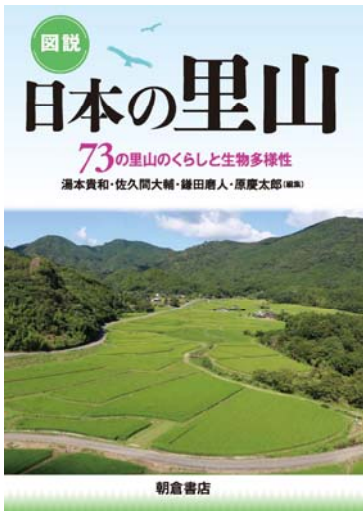
- ・桐越仁美：なぜ明科からアフリカへ？—西アフリカの人びとの今—。安曇野市立明科中学校 PTA 講演会，2025年10月31日，安曇野市立明科中学校。
- ・桐越仁美：私と西アフリカ—樹木を通じて人びとをみる—。African night～アフリカのお話と音楽と～，2025年10月31日，長野県伊那市 LaLaLa INA。

#### その他（委嘱業務）：

- ・参議院 客員研究員

## 【新刊案内】

湯本貴和・佐久間大輔・鎌田磨人・原慶太郎編（2025）：『図説 日本の里山—73の里山のくらしと生物多様性—』朝倉書店、4,300円＋税。



最近、人里でのクマの出現が、とても大きな問題となっています。アーバンベアとも呼ばれるクマの出没は都市域にもクマが現れるようになった現象ですが、元より中山間地域では、クマによる被害のほか、イノシシ、シカ、キョン、サルなどによる獣害も、大きな問題となってきました。獣害の増加は営農意欲の減退を促すことも知られており、獣害は農村地理学・農業地理学の視点からも注目すべき事項といえます。

センセーショナルなクマ被害を受けて、最近ではあるべき獣害対策についての議論も進められていますが、そのような話の中で抜本対策の一つとして必ずとりあげられるのが、「人里」と獣の本拠である「奥山」との中間に位置する「里山」の管理のあり方についてです。このようなタイミングで2025年6月に、全国の里山研究の成果をコンパクトに示した『図説 日本の里山』が発刊されていました。

この本は、実は「里山の地誌」とも呼び得る本で、19頁までの総説の後は150頁ほどの分量で、日本各地の里山についての各論が述べられています。各論の構成は、各地の里山ごとに見開き2頁で、「里山の概要と景観」「里山をつくってきた生業・利用」「里山を特徴づける生物相」

「里山の現在の利用状況と管理」といった見出しごとにとりまとめられています。評者の磯谷は多摩丘陵の節を担当し、断片化と孤立化が著しい多摩丘陵の里山について、住民による里山管理や環境教育の場としての機能などにも言及しています。

このような訳でこの本は、獣害対策への興味をもつ人のほか、植生地理学、動物の生態地理学、農村地理学、里山の利用や管理に関する文化地理学・社会地理学、といった諸分野に興味をもつ学生にとっても、レポートや卒論の題材を提供してくれるかもしれない本となっています。地理実習室に配架されていますので、興味をもった人は、まずは手に取って眺めてみましょう！

（磯谷達宏）

宮内崇裕・堤 浩之・石山達也・楳原京子・金田平太郎・後藤秀昭・田力正好・廣内大助・松多信尚編『日本の活断層総覧』，東京大学出版会、54,000円＋税。



近年、日本各地で活断層による地震が頻発しています。このような状況の中、活断層情報の最新ハイブリッドデータベース（クラウド型活断層データベース）が10年の歳月をかけ、ついに刊行されました。本書は、高解像度の数値標高モデル（DEM）を活用して認定された最新の活断層情報を集大成したものです。書籍では地勢図スケールで活断層図とその解説をまとめ、新規話題の活断層はトピックで紹介、震源断層モデルも提示しています。また、付属のクラウドサービスでは、全国シームレスで詳細な活断層デジタルマップを閲覧できます。地質図・空中写真との重ね合わせや3D表示も可能で、諸元・文献等の検索機能も充実しています。

なかなか自費で購入できる本ではありませんが、皆さんは国土館大学の地理実習室で利用できます。もちろん、クラウドサービスも付属のパスワードを使って利用可能です。一度、実習室のパソコン上で確認してみても良いでしょう。なお、私は九州地方（「大分」「中津」「福岡」）の判読・図化を担当しました。

（小山拓志）